

2019
MCP
award

奨励賞
IoT-EX 株式会社

IoT 相互接続サービス「IoT-EX」

異なるメーカーのモノやサービスをつなぎ、生活のIoTを推進

生活分野における多彩なIoTサービスの展開は、期待されながらもまだまだ市場規模が小さい。原因の1つは、IoT接続がメーカー・系列内にとどまっていることにある。

IoT-EX社の「IoT-EX」は、この課題を解消すべく、異なるメーカーのモノやサービスを安全に接続し、連携を可能とする。相互接続には「IoT HUB」を利用。同社は電気通信事業

者としてデータの中身を見ずデータを保存しない立場をとる。メーカーごとの仕様の違いは「IoTドライバ」の提供で吸収。まだインターネットにつながっていないデバイスは「IoTルータ」で接続する。

これらの機能を活用することにより、多様なメーカーの機器・サービスを組み合わせる新しいサービスを生み出すことが可能となった。具体例として、「緊急地震速報を受信したら、ガスコンロを消しドアを解錠・照明を点灯する」「AIスピーカーからの音声で、これまでは接続できなかったメーカーのエアコンの温度を調節する」などが挙げられる。

図 IoT-EXが異なるメーカーの機器をつなぐ例

1. 緊急地震速報を受信したら、ガスコンロを消し、ドアを解錠、照明を点灯(1,2,3,4)
2. 防災放送情報を受信したら、AIスピーカーで繰り返し聴くことができ、照明を赤で点滅(5,6,7)
3. AIスピーカーから、音声で、Echonet Lite対応のエアコンの温度を27度に変更(8,9)

